

10月7日(水曜日)「肉的熱心では」

【新改訳 2017】

ルカ 9.51-56

「弟子のヤコブとヨハネが、これを見て言った。『主よ。私たちが天から火を呼び下して、彼らを焼き滅ぼしましょうか。』しかし、イエスは振り向いて、彼らを戒められた。」(54、55節)

主イエスが、ひたすらエルサレムを目指して歩み行かれた時、途中、サマリア人たちはイエスを受け入れなかったため、ヤコブとヨハネが冒頭のように語ったのです。怒りのゆえでしょうか。随分厳しいことばとなっています。

実は、ヤコブとヨハネは、主からボアネルゲ(雷に子)というあだ名をつけられていました。一見、熱心な信仰のように思われますが、主は彼らを戒められたのです。

主イエスの弟子たる者は、肉的な(霊的でない、生来の性質や能力に依存する)熱心だけではふさわしくないのです。主のみこころ、みことば、聖霊の導きに従っている熱心が大切なのです。熱心にも種類があります。

弟子たちは聖霊降臨後に変えられました。私たちもそうで

ありますように。

～祈り～

主よ。肉的热心ではなく、本当に霊的な、みこころにかなった熱心で事に当たることができるようにならせてください。御霊によって変えられた者にしてください。

【学びのために】

ゼカリヤ 4・6「『権力によらず、能力によらず、わたしの霊によって』と万軍の主は仰せられる」。ヨハネ 3・5-7 も参照。